

パブリックコメントによる 主要意見と対応

1. 主要意見及び対応方針

	主要意見	対応方針	資料 5	長期構想 (案)
物流・産業	▶ 港としての機能は懸案が見当たらなかったが、県外へのネットワークが脆弱している。茨城は車社会が根付いているため、高速道が大動脈と誤ってしまっているため勘違い。よって、物流の大動脈は車と鉄道の共用であると考え。港湾施設に鉄道機能ないとネットワーク冗長できないため、一括多量輸送力が不可欠である。 ▶ 海外物流業の誘致活動が必要。港が玄関口となるわけだから企業用地の確保が必要と思う。	○本県においては、海上輸送・貨物鉄道輸送のさらなる利用によるモーダルシフトの促進に取り組んでまいります。引き続き、関係部局との連携に努めてまいります。(追記) ○地域の産業競争力強化に向け、首都圏の玄関口である当港湾の整備や企業活動に必要な用地確保に努めてまいります。 【物流・産業 取組②】新たな施設整備促進及び産業用地の確保	p38	p50
			p62 ～ p64	p74 ～ p75
環境・エネルギー	主要意見	対応方針	資料 5	長期構想 (案)
	※特に意見はありませんでした。	—	—	—
	主要意見	対応方針	資料 5	長期構想 (案)
人流・賑わい	▶ クルーズ船が大型（常陸那珂港区）と中型以下（大洗港区）を港ごとで分ける理由は。 ▶ 常陸那珂港区内外阿字ヶ浦側も賑わいゾーン化した方がよいのではないか。 ▶ 那珂湊が孤立になってしまうような気がする。那珂湊にクルーズ船を受入化できない理由はあるのか？。那珂湊の市場は好評であり、一体化して再構築をするべきでないか？ ▶ 那珂湊は最低限の（クルーズ船受入れの）予備機能を有して置くことが必要と思う。	○各港の施設規模に応じた機能分担により、クルーズ船を誘致しております。 【取組①】クルーズ船の受入環境整備 ○また、近隣と一体化した賑わいゾーン化につきましては、関係部局と連携し寄港地ツアーを多様化することで、阿字ヶ浦や那珂湊、その他周辺観光施設への人流を活性化し、地域全体における賑わいの場の創出を図ってまいります。 【取組②】背後観光スポットとの連携によるクルーズ船誘致 【取組③】みなとを中心とした交流拠点の創出	p76	p85 ～ p86
			p77 p78	p87 p88

1. 主要意見及び対応方針

安全・安心	主要意見	対応方針	資料 5	長期構想 (案)
	※特に意見はありませんでした。	—	—	—
その他	主要意見	対応方針	資料 5	長期構想 (案)
	➤ 港敷地は港湾が主体であるが、土地の積極的活用を港湾課は地域振興、水産、営業の各課にゆだねるべき。地域振興課との協働していないように思える。 ➤ 地域振興課はひたちなか大洗リゾート構想の策定について進捗状況を公表すべきでないかと考える。	○引き続き関係部局と連携し、積極的な土地活用を進めてまいります。 ○ひたちなか大洗リゾート構想に伴う取組につきましては、様々な機会を通じて情報発信を行ってまいります。	—	—